

# 2021 年度後期第 4 回全学実行委員会議事要旨

文責 北海道大学大学祭全学実行委員会事務局 事務局長 北

澤 剛

本文書では以下の略称を用いる。

参加者の略称：

委員長(全学実行委員長)

局長(全学局長)

会計(全学会計)

楡(楡陵祭代表)

薬(薬学祭代表)

工(工学祭代表)

IFF(International Food Festival 代表)

農(農学祭代表)

獣医(獣医学祭代表)

医(医学展代表)

文(文系祭代表)

理(理学祭代表)

その他の略称：

各祭(北大祭を構成する上記の各種学祭)

委員会(委員会という場合、組織としての全学実行委員会を指す)

実委(実委という場合、会議としての全学実行委員会を指す)

事務局(北海道大学大学祭全学実行委員会事務局)

## 1. 近況報告

①大学事務との第 2 回話し合いが確定した。話し合いの日程は、2022 年 3 月 15 日 (火) の 15:30～と決められた。

今回の意見交換では、全学実委としての第 64 回北大祭についての様々な主張を大学事務に伝え、その意見交換を基に第 64 回北大祭の方向性が決められる予定である。

②来場者制限案の改訂資料および新型コロナウイルス感染症対策についての資料を作成した。これらは全学実委内および大学事務に共有される予定である。

③レンタルに関して、レンタルの期限を確認していたガスのレンタル業者より「3 月 10 日までに開催規模を含め開催の有無がわからなければ用意が難しい」という内容の返答があり、これについて大学事務、レンタル業者の双方に連絡を取り対応している状況である。

## 2. 連絡事項

#### ①工学祭代表の交代のお知らせ

今回の全学実委より、工学祭の代表が工学部3年の倉本太郎さんに代わった。

#### ②各祭向けサブドメイン・メールアドレス貸与について

北海道大学大学祭全学実行委員会事務局 サーバ担当 森田より、各祭向けサブドメイン・メールアドレス貸与についての連絡があった。

### 3. 来年度の北大祭についての議論

#### ①開催形態について

今までの実委や各祭への個別面談から、各祭の意見はおおむね対面開催を希望するものであった。それを踏まえて、委員長は「改めて対面か完全オンラインかについて議決を取る必要がない」と判断した。

※大学事務も対面開催には肯定的であるが、コロナ禍において例年通りの開催は難しいということで、独自に対面縮小案（来場者制限案、コロナ対策案）を作成した。全学実委の総意として、この2案と共に対面開催の意思を大学事務に表明する予定である。

各祭の意見としては、実験や講演会など、対面開催を前提とする出し物が目玉である以上、完全オンラインには反対であるというものなどがあった。

#### ②食品提供について

食品提供について、委員長は、以下の3つの案を提示した。

ア、イートインスペースの設置

イ、既製品販売のみ

ウ、食品提供なし

※具体案として完全テイクアウトがない理由としては、

- ・食べ歩きを徹底することができないため
  - ・北大郊外で密集して食事する来場者の発生を防止できないため
- などである。

#### ③開催延期の判断基準について

今回は、延期時期についての決定はしないことになった。理由としては、延期時期のレンタルについて業者からの返信が来ておらず、延期時期を定めてもその返信次第で変動するだろうから、というものである。

したがって、今回決定するのは開催延期の基準である。

委員長が提示した延期の基準は、以下の2つである。

ア、6月開催、完全オンラインの場合に延期

イ、6月開催、対面開催かつ食品提供なしの場合に延期

この他の案について各祭に意見を募集したが、新たな案が出なかったため、各祭ごとにアとイについての意見を述べることになった。

以下は各祭の意見を簡単にまとめたものである。

・延期することで確実に食品提供ができるというなら延期したほうが良いが、確証がないのであれば今の時点で判断するのは難しい（薬）

- ・対面開催であれば飲食なしが好ましく、できれば延期はしたくないが、他の各祭は食品提供が重要になると思われるので、延期も仕方がないと思う（文）
- ・延期して対面開催かつ食品提供ができるなら延期してもいいと思う。他の各祭も、食品提供ができるなら延期してもいいと思うが、実際にその判断をするときは全学実委などを開いて総合的に判断したい（農）
- ・現時点での延期は考えていない。理由としては、延期した場合に大学の屋内が使用できるかわからず、準備の時間が足りなくなってしまう可能性があるからである（楡）
- ・対面開催で食品提供がなかった場合は基本的に延期で良いかと思う。対面かオンラインかについての問題も、とりあえず延期してから考えるのもいい（理）
- ・北大祭の雰囲気を作るのは楡陵祭の模擬店、というイメージがあるので延期の判断は食品提供できるか否かを基準にしたいと思う。しかし、秋は病院実習やテストが重なり、参加できるかという点は何とも言えない（医）
- ・対面開催かつ食品提供ができるなら延期したい。工学祭自体は食品提供は現時点で考えていないが、食品提供ができないと北大祭自体の盛り上がりにも欠けるので、食品提供ができるまで延期したい（工）
- ・対面開催かつ食品提供ができるなら延期したい。医学展と似ていて、その時期にテストなどで人が少なくなってしまうのは何とも言えない（獣医）
- ・食品提供を行わないと、そもそも IFF としての活動が出来なくなってしまうので、延期するかどうかの判断は食品提供できるかどうかでお願いしたい（IFF）

#### 【採決の結果】

棄権 0 案ア 2 案イ 8

よって、案イ（6月対面開催かつ食品提供なしの場合延期）が採択された。

## 4. その他

- ・今回をもって後期全学実委は終了した。
- ・全学決算報告は前期第1回（4月4日）に行うこととなった。

## 5. 本件に係る連絡先

北海道大学大学祭全学実行委員会 事務局長 北澤 剛([huf@hokudaisai.com](mailto:huf@hokudaisai.com))